**情報科学研究科　博士後期課程学生特別支援制度　申請書**

<平成２９年度採用分>

１．申請者情報

記入日：　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 専攻名 | □　情報基礎科学　　　　 □　システム情報科学 □　他研究科、他大学等□ 人間社会情報科学　　 □　応用情報科学 |
| 本学・学籍番号 | 　　 |
| 後期課程　　進学・入学　　予定年月 | 　　□　　　　年　４月　　　　　　　　　□　　　　年１０月 |
| （フリガナ）氏　名 |  | 男・女 |
|  |
| ローマ字 | FirstName | FamilyName |
| 生年月日※西暦で記入 | 　　　　　　年　　　月　　　日 | 国　籍 |  |
| 現住所連絡先 | 〒電話番号：　　　　　　　　　　　　　携帯電話番号： |
| メールアドレス | （パソコン）　　　　　　　　　　　　　　　@ |
| （携帯等）　　　　　　　　　　　　　　　　@ |
| 後期課程予定指導教員 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 研究課題名 |  |
| 奨学金等受給の有無☑を付ける※記入日時点 | ●日本学生支援機構奨学金(JASSO)： □ 有（　　年　月まで受給予定）　□ 無 |
| ●外国人留学生に対する奨学金： □ 有（　　年　月まで受給予定）　□ 無 |
| ●TAの雇用状況： □ 雇用中（雇用期間　　　年　月まで）　　□ 該当なし |
| ●RAの雇用状況： □ 雇用中（雇用期間　　　年　月まで）　　□ 該当なし |
| ●その他に受給している奨学金等(複数件ある場合は、別紙に記入してください)　機関名：　　　　　　　　　　　　　　名称：受給期間：　　　　　　　　　　　　　受給金額： |

次ページ以降は，平成２９年度特別研究員（ＤＣ１）の「申請書内容ファイル」と同内容なので，　　　　　　　ＪＳＰＳのウェブサイトからダウンロードした様式で記載いただいて構いません．

(申請内容ファイル)

2．現在までの研究状況（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）

　① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。

　② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①で記載したことと関連づけて説明してください。

　　なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。

|  |
| --- |
|  |

 申請者登録名

|  |
| --- |
| （現在までの研究状況の続き） |

3．これからの研究計画

(1) 研究の背景

　　2.で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて

記入してください。

|  |
| --- |
|  |

 申請者登録名

(2) 研究目的・内容（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。）

　① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　④ 研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

(3) 研究の特色・独創的な点

　　次の項目について記載してください。

　① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点

　② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義

　③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

|  |
| --- |
|  |

(4) 年次計画

　　DC1申請者は１～３年目、DC2申請者は１～２年目について、年次毎に記載してください。元の枠に収まっていれば、年次毎の配分は変更して構いません。

|  |
| --- |
| （１年目）ＤＣ（２年目）（３年目）（DC２申請者は記入しないでください。） |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

(5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

|  |
| --- |
|  |

申請者登録名

4．研究業績（下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。業績が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他○報」等と記載してください。査読中・投稿中のものは除く）

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。）

 著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度）を、論文と同一の順番で記載してください。）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。）

　　　著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度）を、論文等と同一の順番で記載してください。）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。）

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

　　　(3)と同様に記載してください。

(5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。)

(6) その他（受賞歴等）

|  |
| --- |
|  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

5．自己評価

　日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、申請者本人による自己評価を次の項目毎に記入してください。

　① 研究職を志望する動機、目指す研究者像、自己の長所等

　② 自己評価する上で、特に重要と思われる事項（特に優れた学業成績，受賞歴，飛び級入学，留学経験，特色ある学外活動など）

|  |
| --- |
|  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名